

令和7年度第6回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和7年11月3日（月・祝）

実施場所：穂別町民センター

令和7年度子ども化石くらぶ第6回目を開催しました。外部講師による実習と講演を実施しました。今回は恐竜を研究されている福岡大学の田上 韶准教授に来ていただきました。

【5・6年生の部（午前）】

8名の会員児童が参加しました。田上准教授による実習で、最初に「てこ」の説明を受けて、部屋のドアを押す位置によってドアを開く力が変わることを確かめました。動物の顎も「てこ」の原理で力が伝わることを教えていただき、写真上で恐竜の下顎の支点から作用点などの長さを計ることで、顎の部位ごとにどれくらいの力がかかるかを調べました。角竜類について調べた後で、5・6年生は鳥脚類についても調べました。実習は約2時間かけて行いました。



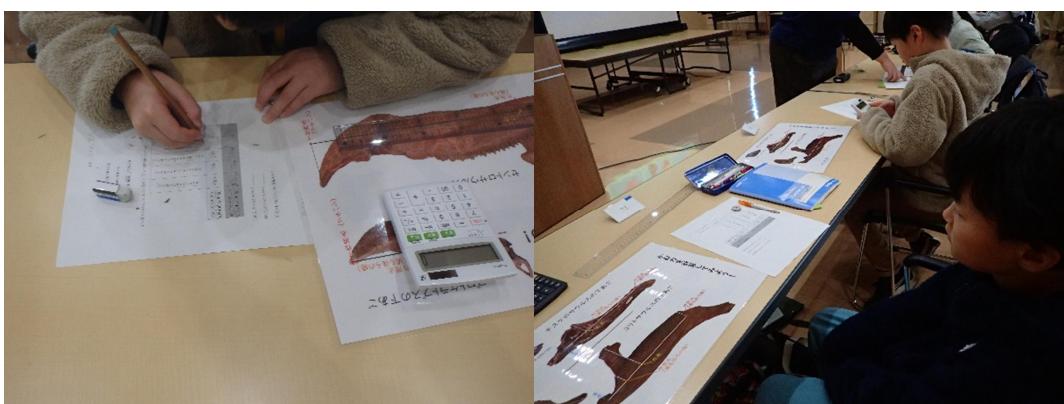
左：スタッフの打ち合わせ。右：会場の様子



講師の田上准教授



実習の様子。てこの説明。



実習の様子。角竜類のあごと鳥脚類のあご（写真右下）の部位ごとにかかる力の計算。

30分間ほどかけて行った講演では、恐竜を好きになった小学生のころから、アメリカ・カナダに留学されたこと、福岡大学に就職された後に行われた研究などについて紹介していただきました。



講演の様子

最後に西村学芸員から、化石くらぶの11-12月の補習と、1月に提出する課題のポスター制作について説明をしました。



5・6年生とスタッフの集合写真

【3・4年生の部（午後）】

10名の会員児童が参加しました。田上准教授による実習を1時間半ほどかけて行いました。5・6年生よりも内容を少し易しくして行いました。



会場の様子



実習の様子。ドアを使った「てこ」の理解。



実習の様子。プシッタコサウルスの下顎（レプリカ）の観察。



実習の様子。

30分間ほどかけて行った講演では、恐竜を好きになった小学生のころから、アメリカ・カナダに留学されたこと、福岡大学に就職された後に行われた研究などについて紹介していただきました。



講演の様子

最後に西村学芸員から、化石くらぶの11-12月の補習と、1月に提出する課題のポスター

制作について説明をしました。



3・4年生とスタッフの集合写真

11月3日の活動では、中高生ボランティア5名、博物館ボランティア3名の方々にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

3・4年生の部を一般公開し、1名が見学しました。

また、11月3日の活動が苫小牧民報に掲載されました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘
むかわ町穂別博物館 主任 干場芽衣